



カレンダー

入場
無料

2024年版

新作展示会

開催

4月20日[木]

▶21日[金]

名入れカレンダー約1,600点が並び、国内最大級の専門展示会



出典:国立天文台所蔵「岡田芳朗文庫」、国立国会図書館所蔵「日本の暦」より

同時開催 20日 14:00~15:30 (受付13:30より)



暦文協ミニフォーラム

明治改暦150年記念
「カレンダーの今後の展望」

参加
無料

場所

展示会内
特設会場

- 要申込(事前に事務局へご予約ください)
- リモート視聴可能(要申込)

*万一定員を超えた場合には立見となる場合がございます。予めご了承ください。

出演

・カレンダー業界関係者

高田廣一氏 [丸廣株式会社 代表取締役]

杉本庄吾氏 [株式会社杉本カレンダー 代表取締役]

鹿児島智之氏 [有限会社山基 代表取締役]

・問題提起

奥野卓司氏

[暦文協常務理事、
(公財)山階鳥類研究所シニアフェロー、理事、
関西学院大学名誉教授]

・座長

中牧弘允氏

[暦文協理事長、国立民族学博物館名誉教授、
吹田市立博物館特別館長]

主催

日本カレンダー暦文化振興協会

●同時リモート配信(要申込)

4/20(木)当日14:00より、インターネットを用い同時配信を行います。
参加/閲覧方法は暦文協のホームページにてご案内いたします。

お問合せ:暦文協事務局

TEL:03-5816-5066 FAX:03-5816-5036

https://www.rekibunkyo.or.jp



●20日 ※20日の開会式は午前10時から
午前10時30分~午後5時

●21日
午前9時30分~午後5時

- 2024年版新作カレンダー約1600点の公開展示
- JCAL選出の優秀賞受賞作品の発表展示
- 中南米諸国など海外カレンダーの展示

カレンダープレゼントなど
ご来場特典もございます!
楽しみにお越しください。

「12月3日はカレンダーの日」

明治5年(1872)11月9日、宮中において改暦式が行われ、大勢の役人が参席する中、明治天皇は大臣を従えて便殿に出御し、伊勢神宮を遥拝して祝詞を読んで事の由を告げられました。政府は、明治天皇の詔書と太政官布告を発して「来る12月3日を以て明治6年1月1日とし太陽暦を実施する」と発表。長い間、太陰太陽暦で生活していた国民にとって、突然の改暦は大変大きな衝撃でした。しかしその結果、太陽暦を採用する諸外国と足並みを揃えることになり、日本は文明開化の道を歩み始めます。この史実に基づき昭和63年(1988)に、全国団扇扇子カレンダー協議会、並びに全国カレンダー出版協同組合連合会によって12月3日は「カレンダーの日」と定められました。

北とびあ 展示ホール B1F
〒114-8503
東京都北区王子1-11-1

- JR京浜東北線王子駅北口より徒歩2分
- 都電荒川線 王子駅前駅より徒歩5分
- 東京メトロ南北線 王子駅5番出口より直結



主催:全国カレンダー出版協同組合連合会

後援:全国団扇扇子カレンダー協議会、日本カレンダー暦文化振興協会



お問合せ:全国カレンダー出版協同組合連合会事務局
〒110-0016 東京都台東区台東1-27-1

TEL.03-5816-5035 https://jcal.jp